

大分県立竹田高等学校



所在地 : 大分県竹田市
 生徒数 : 約350名

国語科 山村 亮仁 様

現状・課題

<現状>

- 本校の生徒は大学・専門学校・就職と、様々な進路を希望する。どの進路を志すとしても、言語能力は必要不可欠である。

<課題>

1) 成功体験の蓄積

本校は真面目に取り組む生徒が多い。進路指導が本格化する高校2年生修了を前に、一人でも多くの生徒に「できた体験」を積ませたい。

2) 文章力を育成・測定する仕組みづくり

生徒の文章を見ていると「自分の考えを正しく、分かり易く伝える」力に課題がある。生徒の希望進路の実現を支援するには高校3年生からの指導では遅く、早い段階で生徒の文章力を体系的に育成する仕組みをつくる必要がある。

導入形態

- 対象 …高校1・2年生の希望者
- 目標級 …3級～2級
- 指導概要…【夏】休暇中の講座 (6コマ)

<内訳>

意見文・論説文：3コマ
 資料分析：1コマ
 文章読解：1コマ
 文法：1コマ
 その他：自学自習

【冬】放課後での講座 (4コマ)

- 教材 …『基礎から学べる！文章力ステップ』
 (3級・準2級・2級)
 文章読解・作成能力検定
 (3級・準2級・2級)

文章検導入のポイント

- 『文章力ステップ』は指導のポイントが明確であり、これまで授業で十分指導できていなかったテーマ(例:構造的な文章作成)を指導することができる。
- 『文章力ステップ』は学習指導要領に対応、特に「思考・判断・表現力」の育成・測定ツールとして有効に活用できる。
- 検定試験を実施することで、客観的な指標に基づいて生徒の文章力を測定することができる。

文章検導入の効果

- 合格率は準2級100% (21名受検)、3級90% (12名受検) と多くの生徒が成功体験を積むことができた。文章検合格をきっかけに意欲的に学習に取り組み始めた生徒、現代文の定期テストの点数が伸びた生徒など、その他の学びにも良い影響を及ぼしている。
- 文章検(思考・判断・表現力の育成)の学習を通じて、「漢字が書けない」「文法が間違っていた」など、生徒が自身の知識・技能の不足に気づき、意欲的に学習に取り組むといった相乗効果が生まれている。

※夏期・冬期はそれぞれ別の生徒が受講

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			夏期講座での指導 (6コマ)						放課後での指導 (4コマ)		
					文章検 3級・準2級					文章検 3級～2級	

※2022年12月の取材内容に基づきます。